

第43回定時株主総会

2026年6月30日



JFE システムズ 株式会社



スマートフルIT
SMART+HEARTFUL

はたらくをスマートに。
はたらく人にスマイルを。

Copyright© 2026. JFE Systems, Inc. All rights reserved.

報告事項

- 1.第43期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）
事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および
監査役会の連結計算書類監査結果報告の件**
- 2.第43期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）
計算書類の内容報告の件**

目的事項

決議事項

《会社提案》

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役7名選任の件

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

《株主提案》

第4号議案 剰余金の処分の件（臨時配当の実施）

第43回定時株主総会

2026年6月30日



JFE システムズ 株式会社



スマートフルIT
SMART+HEARTFUL

はたらくをスマートに。
はたらく人にスマイルを。

Copyright© 2026. JFE Systems, Inc. All rights reserved.

議決権行使状況報告

- 議決権を有する株主様の総数
 - 4, 7 7 6 名
- 議決権総数
 - 3 1 2, 4 0 1 個

会計監査人の監査報告 (41ページ～44ページをご覧ください)

監査役会の監査報告 (45ページ～46ページをご覧ください)

会計監査人および監査役会の 監査結果の報告を終わります

- 事業報告
- 連結計算書類
- 計算書類

2025年度（2025年4月～2026年3月）

事業の経過および成果

- 我が国経済は、雇用・所得環境の改善や企業収益の底堅さを背景に、設備投資やデジタル関連投資を中心として、緩やかな回復基調が続きました。
- 情報サービス業界においても、企業のDX推進や業務効率化の取り組みを背景に、基幹システムの刷新、クラウド活用、セキュリティ対策等に関する需要が堅調に推移しました。

- 中期計画(2025～2027年度)のテーマ

『企業としての成長・事業間の協力連携・お客様との共創』

- 3つの基本戦略

1. 重点成長事業（DX、ERPソリューション、基盤サービス）への事業ポートフォリオ転換の推進
2. 会社の持続的な発展と成長を目指した企業文化の変革
3. 投資・財務戦略の強化

2025年度 決算概況(連結)

- 売上高 鉄鋼事業の減収影響により、前年度比で10.3%の減。
- 販売費及び一般管理費 営業活動強化、積極的な人材採用や育成・リスクリングの推進に伴う費用、業務効率化を目的とした社内システム費用増加等の影響により、前年度比で7.8%増。
- 営業利益 売上減少に加え、成長基盤強化のための継続的な人材投資により、前年度比で16.4%減。

(百万円)	2024年度実績	2025年度実績	増減額	増減率
売上高	63,972	57,411	△6,561	△10.3%
売上総利益	15,084	14,424	△660	△4.4%
販売費及び一般管理費	7,495	8,078	+583	+7.8%
営業利益	7,589	6,346	△1,243	△16.4%
経常利益	7,667	6,454	△1,214	△15.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,442	4,266	△1,177	△21.6%
ROE(自己資本利益率)	17.5%	12.5%	△ 5.0ポイント	
EPS(一株当たり純利益)	173.3円	135.8円	△37.5円	
DPS(一株当たり配当金)	61.0円	68.0円	+7.0円	
配当性向	35.2%	50.1%	+14.9ポイント	

2025年度 事業別売上高(連結)

- 鉄鋼事業において、製鉄所システムリフレッシュを計画どおり完遂した。
- 重点成長事業を中心とする事業では、前年度比で順調に増収を達成。

(単位:百万円)	2024年度 実績	2025年度 実績	増減額	増減率	2025年度 事業概況
売上高 *1	63,972	57,411	△6,561	△10.3%	
デジタル製造	1,925	2,219	+294	+15.3%	製造業顧客へのサプライチェーンマネジメントソリューション導入案件増加により増収
ERPソリューション	3,139	3,977	+838	+26.7%	製造業顧客へのERP導入案件や次世代データ基盤構築案件の拡大により増収
スマートソリューション	5,238	5,907	+669	+12.8%	人事・給与ソリューション更新や原価案件の増加により増収
産業ソリューション	7,746	7,895	+148	+1.9%	高い水準の業務量を維持し、堅調に推移
鉄鋼	30,328	21,993	△8,335	△27.5%	製鉄所システムリフレッシュの完遂
基盤	9,444	9,904	+461	+4.9%	ITインフラ・セキュリティ案件増による増収
子会社、他	6,152	5,515	△636	△10.3%	見込案件の期ズレ影響もあり、減収

2025年度末(2026年3月末) 連結貸借対照表

(35ページをご覧ください)

2026年3月末 連結貸借対照表

- 総資産は、製鉄所システムリフレッシュ完遂に伴う売掛金の回収進展、有形固定資産の償却、長期前払い費用の償却などにより、2025年3月末比 △ 341百万円の52,725百万円。

単位:百万円

区分	2025年 3月末	2026年 3月末	増減
流動資産合計	40,271	40,987	+716
固定資産合計	12,795	11,738	△ 1,057
資産合計	53,066	52,725	△ 341

区分	2025年 3月末	2026年 3月末	増減
流動負債	12,522	10,520	△2,002
固定負債	6,399	5,507	△892
負債合計	18,921	16,027	△2,894
純資産合計	34,145	36,698	+2,553
負債・純資産合計	53,066	52,725	△341

2025年度

**連結損益計算書
(36ページをご覧ください)**

**連結株主資本等変動計算書
(37ページをご覧ください)**

2025年度 計算書類

(38ページから40ページをご覧ください)

2026年度業績見通し

2026年度 業績見通し(連結)

- **売上高** グループ外顧客向け事業は堅調に推移、前年度比で4.5%の増収となる見込み。
- **販売費及び一般管理費** 営業活動強化、採用・育成費用、業務効率化を目的とした社内システム費用等を織り込み、前年度比で10.9%増となる見込み。
- **営業利益** 増収により、前年度比で4.0%の増益となる見込み。

(百万円)	2025年度実績	2026年度見通し	増減額	増減率
売上高	57,411	60,000	+2,589	+4.5%
売上総利益	14,424	15,560	+1,136	+7.9%
販売費及び一般管理費	8,078	8,960	+882	+10.9%
営業利益	6,346	6,600	+254	+4.0%
経常利益	6,454	6,800	+346	+5.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,266	4,380	+114	+2.7%
ROE(自己資本利益率)	12.5%	11.9%	△0.6ポイント	
EPS(一株当たり純利益)	135.8円	139.5円	+3.6円	
DPS(一株当たり配当金)	68.0円	70.0円	+2.0円	
配当性向	50.1%	50.2%	+0.1ポイント	

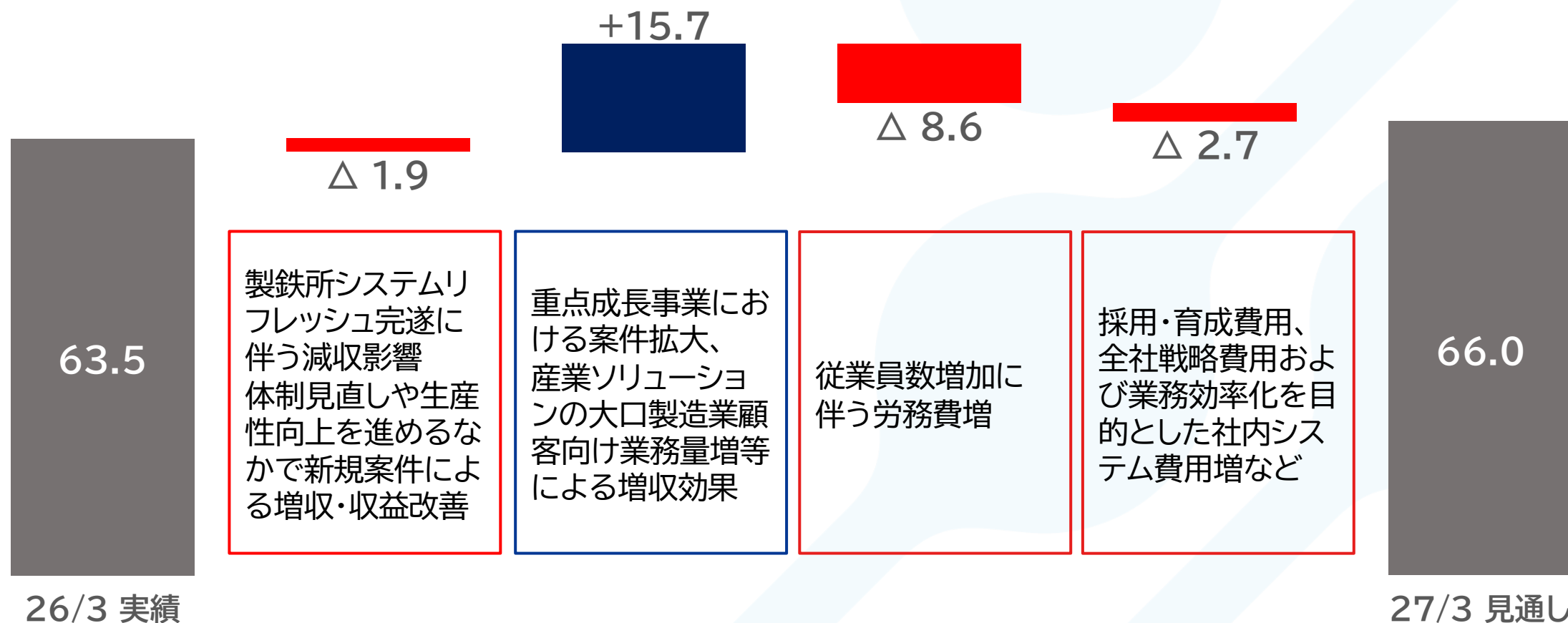
2026年度 事業別売上高見通し(連結)

- 製鉄所システムリフレッシュの完遂に伴う影響はあるものの、重点成長事業を中心とする事業の拡大により、前年度比で約26億円の増収を見込む。

(単位:百万円)	2025年度 実績	2026年度 見通し	増減額	増減率	2026年度 事業概況(見通し)
売上高	57,411	60,000	+2,589	+4.5%	
デジタル製造	2,219	2,496	+277	+12.5%	サプライチェーンマネジメントの導入とIT/OT統合データ活用の案件獲得により事業規模を拡大
ERPソリューション	3,977	4,818	+841	+21.1%	新規顧客向けERP導入案件の拡大や、次世代データ基盤構築案件にて増収を見込む
スマートソリューション	5,907	6,095	+188	+3.2%	クラウドビジネスへの移行を通じ、持続的な収益性向上と効率化を進める
産業ソリューション	7,895	9,284	+1,389	+17.6%	自動車業界をはじめとする製造業既存顧客向け業務システム開発の受注拡大により、増収を見込む
鉄鋼	21,993	18,110	△3,883	△17.7%	製鉄所システムリフレッシュの完遂を受け、今後の大型案件受注に向けた取り組みを本格化
基盤	9,904	10,632	+727	+7.3%	事業規模拡大に向け、新規事業開拓、JFEグループ外とのビジネス拡大、社外との協業を推進
子会社、他	5,515	8,565	+3,050	+55.3%	コムサービス社の売上高拡大等による増収

2026年度 業績見通し 営業利益増減の要因(連結)

- 製鉄所システムリフレッシュ完遂に伴う影響はあるものの、重点成長事業を中心とする事業の拡大が寄与。成長事業への先行的な要員増強や採用・育成費用、社内システム費用等を織り込み、前年度比2.5億の増益を見込む。



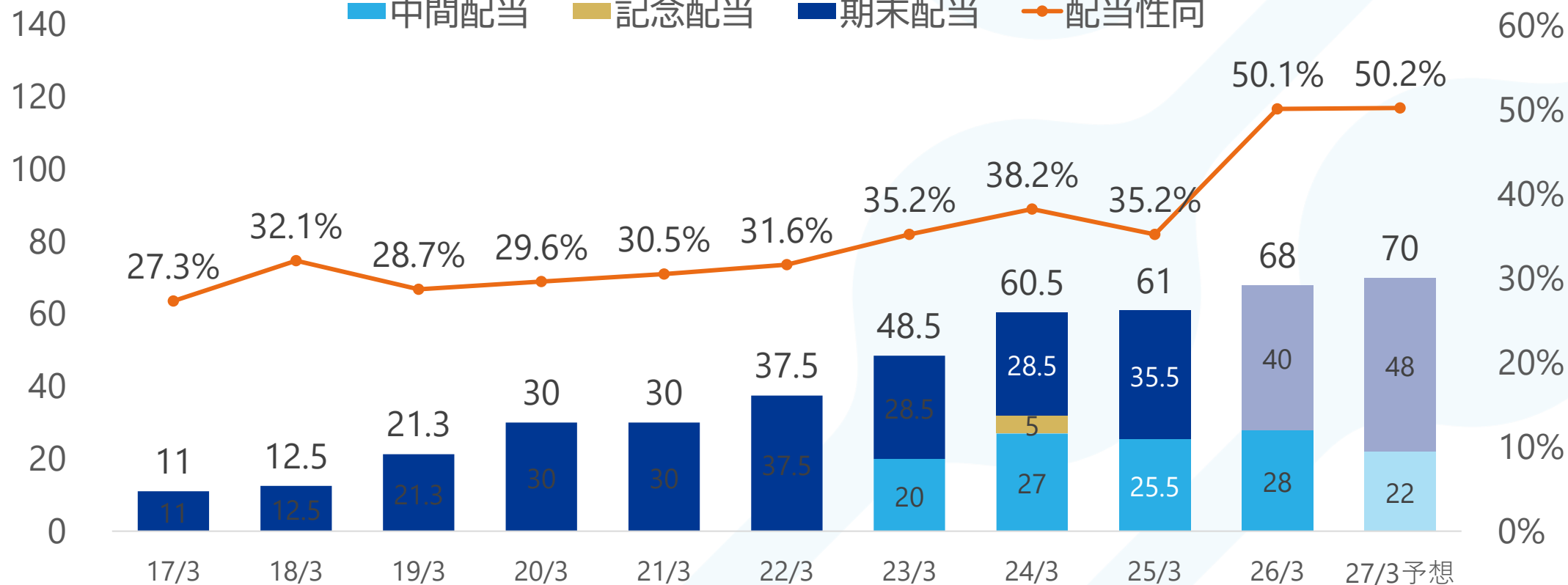
株主還元

- 現中期計画では「配当性向50%目標」とし、利益水準、再投資計画、財務状態等を総合的に勘案した利益配分を行う方針。
- 2025年度 期末配当 40円／株、年間配当 68円／株を予定。
- 2026年度も引き続き株主還元を重視した安定配当を実現すべく、年間配当 70円／株を予想。

1株当たり配当金(円)

配当性向(%)

■ 中間配当 ■ 記念配当 ■ 期末配当 — 配当性向



2025年3月期以前は株式分割後の金額に換算

中期計画に対する進捗状況



JFE システムズ 株式会社



スマートフルIT
SMART+HEARTFUL

はたらくをスマートに。
はたらく人にスマイルを。

Copyright© 2026. JFE Systems, Inc. All rights reserved.

中期計画概要（2025-2027）

2030年に目指す姿

スマートフルITの実現

- ITの力を通じてお客様へ貢献し、世の中をスマートにすることで社会へ貢献し続ける-

社会的価値の提供

企業価値の向上

事業規模の拡大

価値創造プロセス

STEP

① 2022-2024

STEP

② 2025-2027

STEP

③ 2028-2030

事業成長

DX・基盤事業強化

事業ポートフォリオ再構築

コンサル型企業への進化

収益性・財務強化

収益力向上 還元政策強化

規模と収益 双方の追求
株主還元の継続強化

連結売上高 850億円超
連結営業利益 120億円超



スマートフルIT
SMART+HEARTFUL

はたらくをスマートに。
はたらく人にスマイルを。

中期計画概要（2025-2027）

中期テーマ

成長・協力・共創

鉄鋼で培った強みで社会に貢献、持続的に成長する企業へ



	2024	2025	2027	2030
売上高	640億円	586億円	674億円	850億円超
経常利益	77億円	64億円	80億円	120億円超

戦略の要諦

事業シフト

将来に亘る継続的な成長に向け、**事業ポートフォリオの抜本的変革**
重点成長事業分野の特定とリソースシフトを実行
➡JFEスチール製鉄所システムリフレッシュ完了に伴う**鉄鋼事業の減収を**
成長事業の増収でリカバー

企業文化の
変革

事業シフトに伴い全社でシナジーを創造する組織体制へ
持続的な成長と発展を目指す企業文化を醸成する

投資・財務戦略
の強化

成長に向けた戦略的な投資とM&Aを推進
株主還元も従来以上に進め、**企業価値・資本効率の更なる向上を図る**

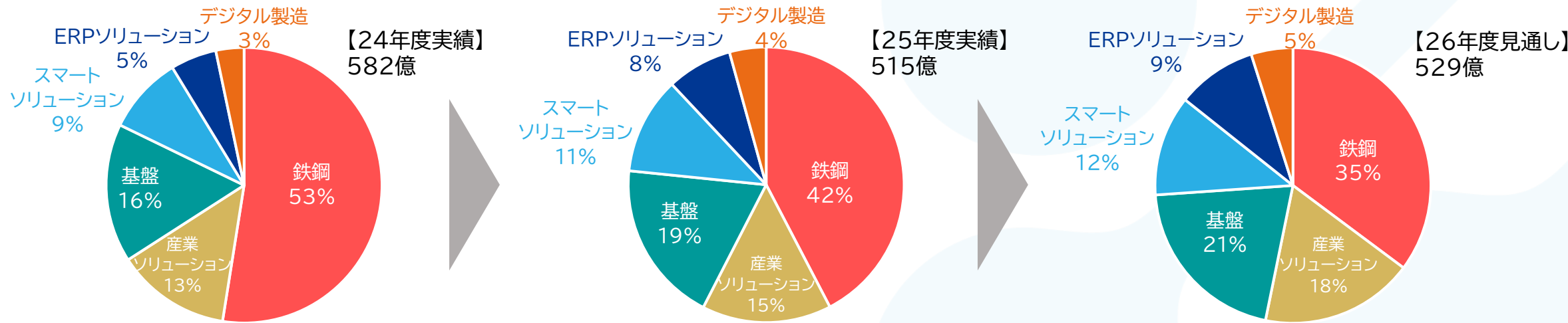
経営基盤強化

中期計画 進捗状況

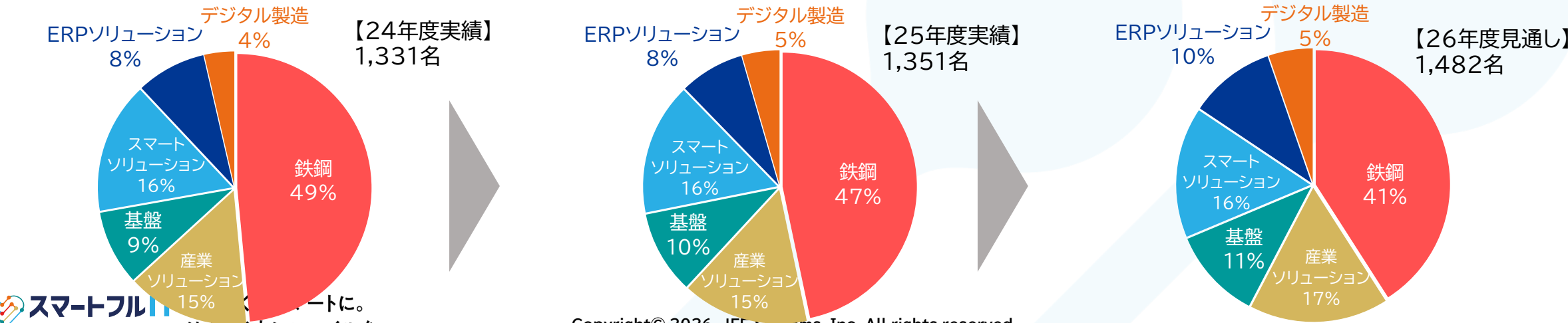
事業ポートフォリオの転換

- ▶ 重点成長事業(DX、ERP、基盤)を中心とした事業ポートフォリオの転換を推進。
- ▶ 中期計画達成に向けて、成長領域への人材シフトにより体制を強化。

事業別売上比率(単体)



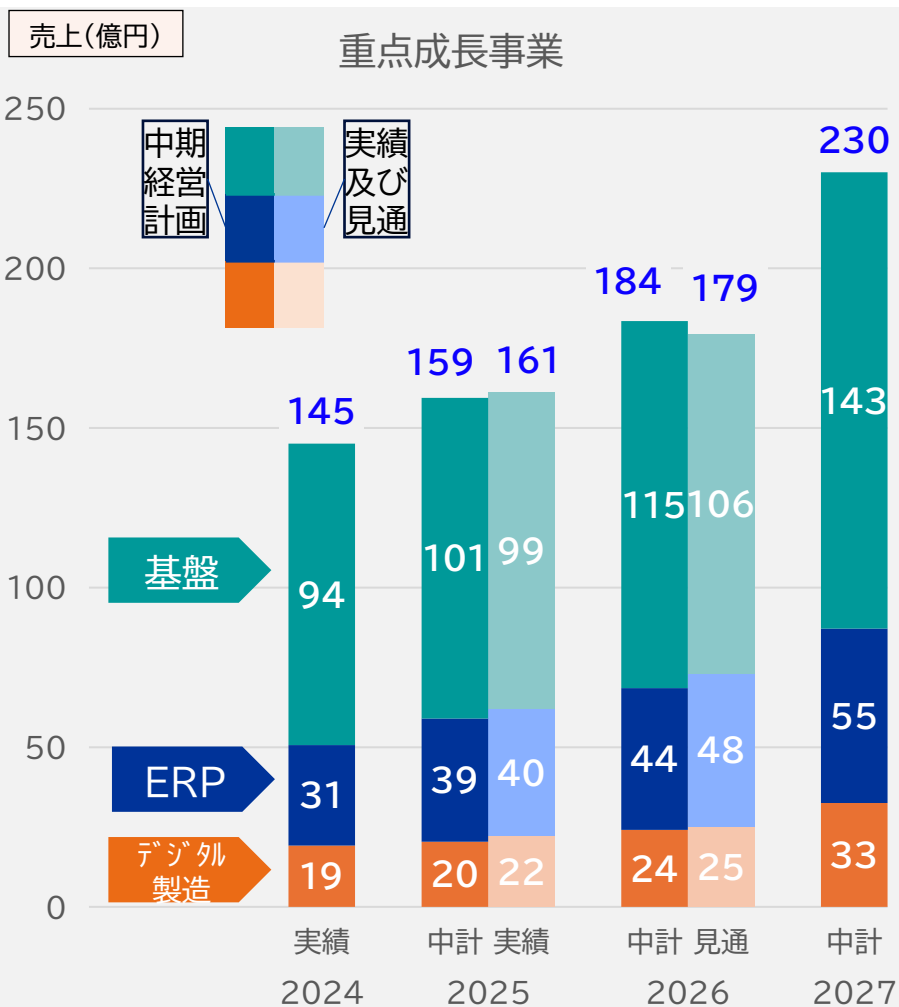
事業別要員比率(単体)



中期計画 進捗状況

重点成長事業

- ▶ 全社の成長を牽引し、市場プレゼンスと収益の両面で将来の柱とする事業群。
- ▶ 中期計画達成に向けて3事業共順調に進捗。



基盤事業

- ・ 市場における需要拡大を背景に、クラウド・セキュリティ関連需要は堅調に推移
- ・ グループで培った技術・運用ノウハウを起点に、グループ外顧客への展開を拡大
- ・ 他社協業も活用しながら新たなソリューション創出を進め、中長期的な成長ドライバーの確立を目指す

ERPソリューション事業

- ・ SAP社およびMicrosoft社の基幹システムを成長ドライバーと位置付け、製造業顧客を中心とした受注・案件形成を計画通り進捗
- ・ 原価・購買・BIなどの自社開発周辺ソリューションとのクロスセルにより、付加価値拡大と収益基盤の強化を推進
- ・ 次世代データ基盤構築案件も計画通りに推進中

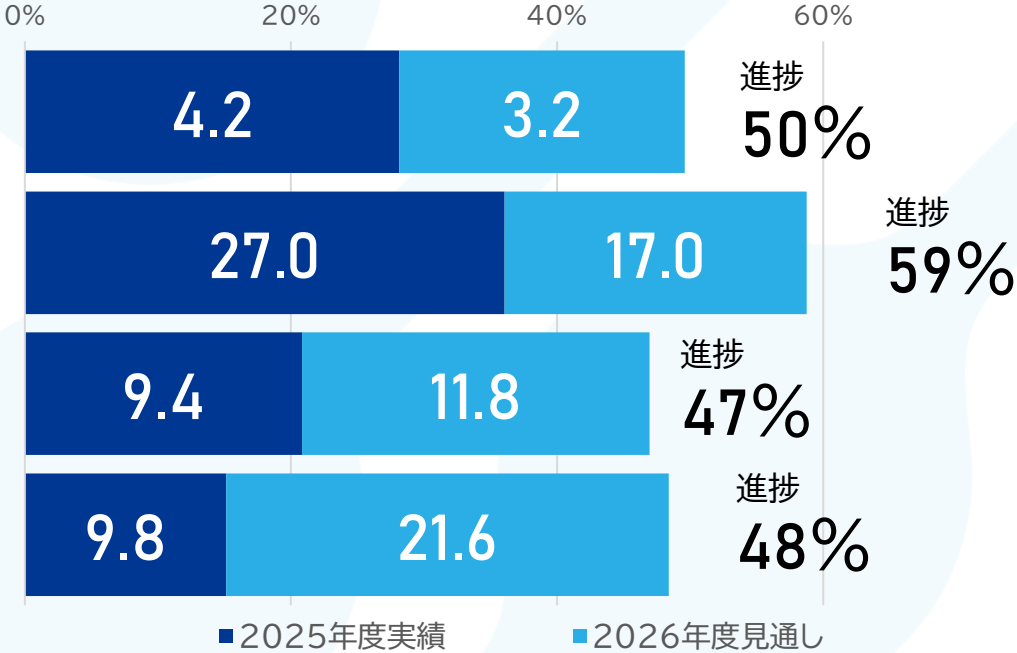
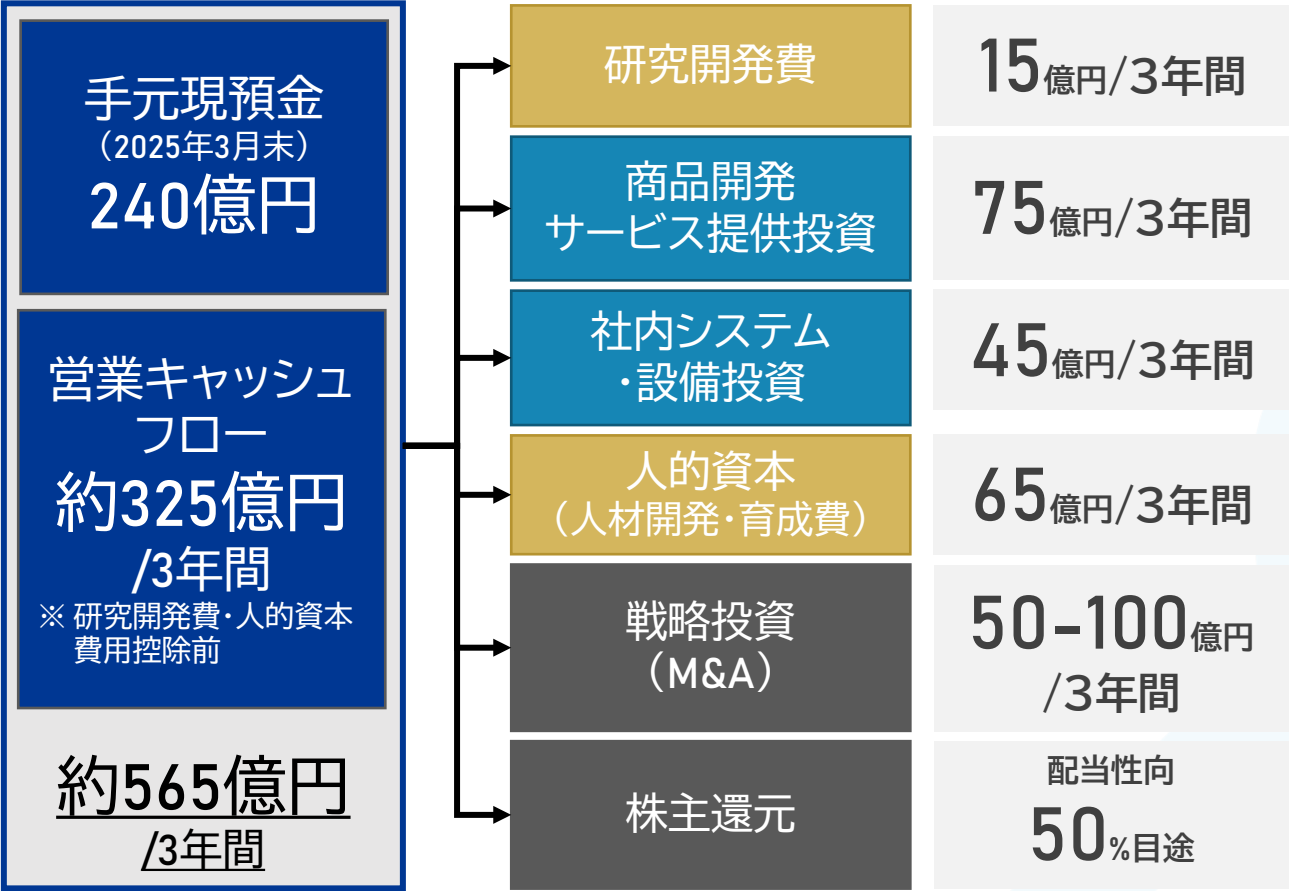
デジタル製造事業

- ・ 製造業向けサプライチェーンマネジメント(SCM)ソリューション導入案件は引き続き堅調に推移し、中期計画通りの進捗
- ・ 製造業を中心にDX需要は底堅く推移しており、IT/OT連携を起点とした現場データ活用を軸に、新規事業の成長に向けた案件創出を推進中

中期計画 進捗状況

投資・財務戦略の強化(キャッシュアロケーション)

これまでの事業成果による手元資金と本中期3ヵ年の事業活動により創出されるキャッシュは、将来の成長に資する活動への積極投資と従来以上の株主還元を進める原資とし、成長戦略の実践と資本効率の改善を進め、更なる企業価値の向上を図る



- 【概況】
- 研究開発、人材、サービス・システムといった成長投資を中心に、概ね計画通りに実施
 - 進捗率が低い投資についても、計画の範囲内で着実に実行
 - M&Aは、戦略適合性と投資効率の両立を重視し、引き続き検討を進める

**以上をもちまして
報告事項の説明を終わります**

《会社提案》

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役7名選任の件

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

《株主提案》

第4号議案 剰余金の処分の件（臨時配当の実施）

第1号議案 剰余金処分の件

《会社提案》

期末配当に関する事項

- 当社の利益配分の方針
配当性向50%程度を目安に、利益水準、再投資計画、
財政状態等を総合的に勘案して決定
- 当社普通株式 1 株につき 金 4 0 円

8ページを
ご覧ください

第2号議案 取締役7名選任の件

《会社提案》

● 取締役候補者

大木	哲夫	(おおき	てつお)
永井	肇	(ながい	はじめ)
新井	幸雄	(あらい	ゆきお)
三澤	義博	(みさわ	よしひろ)
矢崎	雄大	(やざき	たけひろ)
竹田	年朗	(たけだ	としろう)
保々	雅世	(ほぼ	まさよ)

9～13ページを
ご覧ください

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

＜＜会社提案＞＞

- 補欠監査役候補者

高井 伸太郎 （たかい しんたろう）

14ページを
ご覧ください

第4号議案 剰余金の処分の件(臨時配当の実施)

＜株主提案＞

- 提案内容

**期末配当金として普通株式 1 株当たり金銭 9 0 円
(内 4 0 円は普通配当、 5 0 円は臨時配当) の
配当を実施する。**

15・16ページを
ご覧ください

《会社提案》

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役7名選任の件

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

《株主提案》

第4号議案 剰余金の処分の件（臨時配当の実施）

閉会

本日はご多用中のところ
ご出席いただきまして
誠にありがとうございました。



JFE システムズ 株式会社